

地下鉄雑司が谷駅の環5の1側の出口を出ると、漱石の絵が出迎えてくれました。この壁画は雑司が谷に仕事場を持つ、つむりきねかさんが描いたものです。永らく地域の皆さんに親しまれてきました。

壁画の前の空地は、放置自転車対策のためにバリケードが置かれており、何も使われていませんでした。ここを地域や来街者の方の憩いの場にできないかと、NPO法人雑司が谷ひろばくらぶでは、バリケードを撤去し掃除を行っていました。しかし、空地ができたことによって、放置自転車も増えてしまいました。

そこで、ひろばくらぶでは雑司が谷らしい自転車止めとして「青竹結界」を設置しました。その効果によって、設置前の多い時には20台ほどあった自転車が6～7台ほどまでに減少しました。それでも長期間放置されている自転車はなくなりません。勝手に撤去するわけにもいかず、どうしようかと苦心しておりました。

そんな折、アパートの建替えによって、残念ながら漱石ひろばは昨年11月に撤去されてしまいました。



NPO法人雑司が谷ひろばくらぶが主催する「前庭コンクール」が昨年にひきつづき開催されました。今年度は、新型コロナウイルスの感染防止のためもあり、他薦ではなく自薦の応募に変更しました。日ごろから緑を育む10名の方に金賞を贈呈し、感謝の気持ちを届けました。





小池俊夫画「雑司ヶ谷2丁目」パステル 450x375mm

雑司が谷は坂のまち。かつては川だった弦巻通りに向かってたくさんの坂があります。この絵は雑司ヶ谷霊園の南の道から弦巻通りに降りる坂を描いたものです。20年ほど前の風景ですが、周囲の建物が変わってはいるものの坂の様子はほとんど変わっていません。坂には独特の雰囲気が残るのでしょうか。

このあたりは、江戸時代には大久保彦左衛門の抱屋敷でした。近くの敷地にはその頃の庭や彦左衛門お手植えのシイの木が残されています。坂の上には霊園の樹木が垣間見えます。この坂は雑司が谷の中でも緑の多い道となっています。



まちづくりニュース
2021・3
通算88号

ぞうしがや

<http://zoshigaya.org>

- 企画／発行
雑司が谷・南池袋
まちづくりの会
- 事務局・連絡先
豊島区地域まちづくり課
事業第1グループ
03-3981-0489



雑司が谷公園が開園して1周年になります。令和2年3月28日に開園しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、開園式は中止。丘の上テラスも6月までは閉鎖と、思いがけない船出となりました。しかし、公園には、幼児からお年寄りまで

たくさんの方にお越しいただいています。公園の維持管理に地元の皆さんがかかわる体制もでき、「守り育てる公園」、「まちの縁側」という目標が実現されつつあります。公園ができて間もなく1年。これから本格的に「公園育て」が始まります。

不燃化特区における助成制度について

雑司が谷・南池袋地区の不燃化を促進するために、地区内では老朽建築物の建替えや除却に要する費用の一部を助成しています。この制度は令和2年度までの期間限定で運用していましたが、令和3年度以降も制度を一部変更し継続する予定です。

また、不燃化特区の助成を受けるためには、老朽建築物を取り壊す前に区に申請し、承認を受ける必要があります。建替え、除却をご検討の方はお早めに区までご相談ください。

連絡先：豊島区地域まちづくり課事業調整グループ 電話03-3981-1464

開園した雑司が谷公園

雑司が谷公園で行われている活動の一部をご紹介します。
※コロナウイルス感染拡大防止のため、開催内容が変更になることがあります。

丘の上テラス

丘の上テラスには集会室があります。現在、コロナウイルス対策のため定員の半分で、登録・予約をした様々な団体が利用しています。



丘の上テラスとボールひろばは毎週水曜日の午後こどもの時間として開放されています。ご利用ください。

ボールひろば

平日午前中は保育園が利用しています。また、予約した団体がテニスやサッカーなどに汗を流しています。予約が入っていない時間は解放され、だれでも利用することができます。



水遊びひろば

水遊びひろばの噴水は、学校のプールが中止となった昨年の夏は大人気でした。当初は8月末までの予定でしたが、利用者の要望を受けて9月中旬まで延期されました。



ボランティア清掃

運営協議会の事務局を担っているNPO法人雑司が谷ひろばくらぶが中心となって、毎月5日と20日に定期清掃をしています。毎回、多くの団体や個人が参加されています。どなたでもお気軽にご参加ください。



ご意見ボードと使い方ワークショップ

丘の上テラスにはご意見ボードが置かれ、公園で改善してほしいことなどの意見をお聞きしています。また、月1回テラス前で使い方ワークショップを行っています。いただいたご意見を参考に、できるところから改善しています。



運営協議会の設立

雑司が谷公園の運営を行うために、地元町会・商店会の代表者による運営協議会が組織されました。運営協議会では、公園利用者の声を聞きながら、改善できるところから手を入れています。



住民参加で行われている公園管理の一部をご紹介します。

雑司が谷公園だより

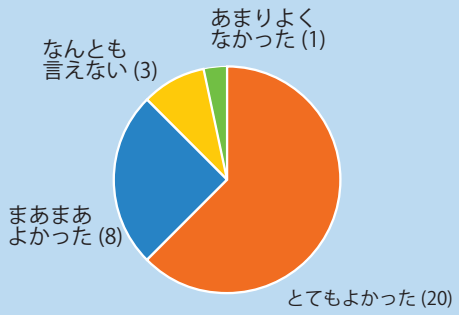
運営協議会では、雑司が谷公園だよりを発行して、雑司が谷公園の様子やイベントなどをお知らせしています。丘の上テラスに置いてありますので、お手にとってご覧ください。また、町会の回覧や掲示板でもお知らせしています。



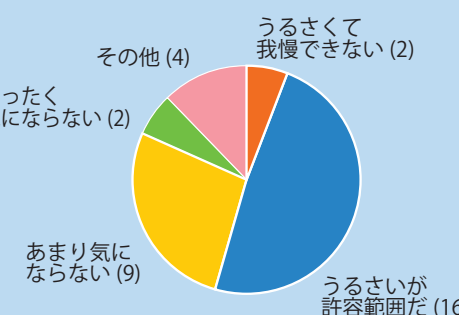
アンケート調査

公園の開園と共に、近隣の皆さんがどのように感じているかについて、運営協議会では、公園に直接面するお宅へのアンケート調査を実施しました。8割以上の方がよかったとお答えでした。

問1 あなたは雑司が谷公園ができてよかったと思いますか。



問7 最近、公園で遊ぶ子ども達の声がうるさいという声を聴きます。どう思われますか。



※雑司が谷公園についてのお問い合わせ：雑司が谷公園運営協議会事務局
NPO法人雑司が谷ひろばくらぶ 電話 03-6912-5692

雑司ヶ谷霊園の再生に向けて

開設されて150年弱の雑司ヶ谷霊園を対象に、昨年6月から東京都公園審議会は「雑司ヶ谷霊園再生のあり方について」の検討を進めています。11月30日に「雑司ヶ谷霊園再生のあり方について(中間のまとめ)」を都民に公表し、意見募集を行いました(東京都公園緑地部HP参照・1月7日終了)。既に青山・谷中・染井の都営霊園では再生整備が進んでいて、雑司ヶ谷霊園はそれらに続くものです。その中間まとめでは、霊園のテーマは「地域と連携し土地の歴史や豊かな緑を未来に継承する」、再生方針は「1.歴史や文化を伝える」、「2.地域の貴重な緑を育む」、「3.故人を偲ぶ静謐(せいひつ)な空間」となっています。

12月に東京都の担当者に来ていただき、まちづくりの会や緑のこみちの会と一緒に説明を受まし



た。それをもとに会からの意見を、
(1)緑の育成と保全と歴史の継承及び地域への啓発
(2)防犯対策の強化
(3)霊園内及び周辺部の交通問題箇所の改善
(4)霊園の防災機能の強化と周知
(5)地域との連携や今後の進め方について
の計5課題16項目にまとめ東京都に提出しました。3月に予定される審議会答申は、今後の霊園再整備等の基本になるので注目です。